



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2022年  
11月4日  
発行

第155回

「迷走するインフレ談議」

～日本株は上昇へ～

## 初めに

各国のインフレへの対応が迷走しています。去る9月6日に就任した英国のトラス前首相はわずか45日で辞任しました。トラス氏が掲げた大規模減税策が金融市場を混乱させ、通貨ポンドや英国債価格の急落を引き起こしたことが理由です。いま、世界の指導者はインフレを重視するかそれとも景気を重視するかの間で難しい判断を迫られています。今回は、各国それぞれの対応を見ながら、合わせて今後の日本株の見通しについてもお話しします。

## 英国は財政健全性重視

トラス氏は景気を重視して減税策を打ち出しましたが、これが裏目に出て辞任に追い込まれました。英国ではサッチャー首相以来の新自由主義的な考えが主流となっているため、財政の健全性を重視し政府の介入を好まない風潮があったためと思われます。

## 米バイデン大統領は景気重視で大型経済対策を発動

一方、米国ではバイデン大統領がインフレ抑制法案を成立させました。この法案は、エネルギー安全保障や気候変動などの分野に多額の資金を投じる、というものです。先ほどの英国とは逆に景気を重視するものです。恐らく、近づいてきた中間選挙で民主党が優位になるようにという狙いだと思いますが、この経済対策で景気が回復したことにより、下火になりつつあったインフレが再燃して民主党は苦戦を余儀なくされることになった、との指摘もあります。

## 岸田首相の総合経済対策

日本でも岸田首相がインフレへの対処などを盛り込んだ総合経済対策を策定しました。大型の経済対策ですが、専門家の間では、日本の財政が厳しい中でここまでやる必要があるのか、といった批判が少なくないようです。また、米国の例を見るように、経済対策のやりすぎは逆にインフレを加速させるという声が政府や与党内にもあるようです。

## 当面の株式市場見通し

日本だけではなく、各国の株式市場は一時のインフレに一喜一憂する局面から脱したものの、上にも下にも行かないという鈍い動きを続けています。しかし、自分はこのもちあい相場は終わりに近づいており、特に日本株については大幅上昇が見込めると考えています。理由は3つあって、①世界的に弱気な投資家が多いこと、②日本企業の業績が好調なこと、③米国の中間選挙の後には米国株は上昇するという経験則があること、があげられます。

(裏面へつづく)



チーフストラテジスト  
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。

## 機関投資家は株式投資に慎重

米国の大手金融機関バンク・オブ・アメリカが投資家のポジションについて毎月行っているアンケート調査によれば、足元では投資家の現金比率が高まっており、投資に慎重になっている様子が見えます。このように聞くと、今はリスクを取って投資するタイミングではないように思われるかもしれませんが、実際には投資のチャンスになることが多い、と自分は考えています。理由は、既に慎重になっている投資家が多いということは、売る人は既に売っているのでこれ以上売る人は少ない、一方、株式を持っている人は少ないのでこれから買う人は多い、という考え方ができるからです。こうした状況から判断して、株式市場はこれから上昇局面に入っていくと予想しています。

## 日本の企業業績は好調持続

財務省が9月1日に発表した今年4～6月期の法人企業統計によれば、全産業の経常利益は前年同期比17.6%増で過去最高になった、とのことです。このように、日本の企業業績が好調を継続していることも日本株の上昇を見込む理由です。また、米国には中間選挙後に株価が上昇するという経験則がありますが、その中間選挙は目前です。であれば、ここから米国株の上昇は期待できることとなりますが、その場合、日本株も連れ高することもありそうです。これらの理由から、今後、日本株は上昇すると予想しています。



チーフストラテジスト  
門司さんにきいてみよう!

